1章 - 物質とメーカーの識別

製品名：	Qタイプの液体	製品コード	244854F
化学名：	アクリルアミド/ アクリレート･ポリマー		
物質の使用/調合：	液体チャンバーポンプ		

サプライヤー： Enviro. blend, Inc.
P. O. Box 329
Springfield, TN 37172
電話：615-382-8215
ファックス： 615-382-8216

HMIS

健康	1
可燃性	1
反応性	0

保護手袋と保護メガネ

非常時電話番号： Enviro. blend, Inc. 615-382-8215
CHEMTREC (搬送) +1-703-527-3887

2章 - 危険性識別

危険分類：
この製品は欧州指針67/548/EECまたは1999/45/ECの分類に含まれません。すべての公表物質は製品分類において危険凝縮レベル以下です。

3章 - 成分情報

危険で規制されている構成部品

構成部品	EINCE/ ELINCS #	CAS #	記号	R-フレーズ / NOTAS	%（W/W）
C10-16 エトキシ化アルコール	ポリマー	ポリマー	Xi, N	R36, R51/53	1 – 5
ハイドロ処理の軽い蒸留液	265-149-8	64742-47-8	Xn	R65	10 - 30

フレーズとNOTASの重要なリスク詳細は16章を参照。

4章 - 応急措置の目安

肌：--------- 汚染した衣料を除去。影響を受けた個所は洗剤と水でよく洗い落とします。
眼：--------- 少なくとも15分間、十分な水で洗浄します。水が眼の表面と瞼内を漱いでいることを確認してください。刺激がなくならない場合は医師の手当てを受けてください。
吸引：-- 新鮮な空気へ搬出し、症状に対処する。症状が悪化する場合には、医師に連絡してください。

摂取：---- 医師の指示なしに、無理に嘔吐させないでください。意識がある場合、口を良く漱がせて飲み水を与えてください。症状が悪化する場合には、医師に連絡してください。意識不明者の口には決して物を与えないでください

医師注意： 特別な解毒対処は未知。患者独自の反応に基づいて、医師は症状コントロールと臨床条件を判断します。ゼリー状の塊を呑込んだ場合、消化を通して障害物を形成することがあります。

5章 - 爆発と火災の対処

引火点	使用方法	可燃性	LEL	UEL
不燃性	なし	際限	なし	なし

消火媒体：
B分類火災には、発泡剤、粉末消火剤、二酸化炭素等の消火剤が適切。
水が大量にない場合は使用しないでください。

不適切な消火媒体：
水が大量にない場合は使用しないでください。

特殊火災用対処：
MSHA/NIOSH 許可済みの呼吸装置(エアボンベ等)を着用のこと。出火したコンテナを鎮火するために水噴射を用いる。

例外的危険性と爆発危険性：
火災条件によっては炭素酸化物(COx)ならびに窒素酸化物の発生することがあります。
製品が水と接触することによって床が滑りやすくなります。

6章 - 偶発的放出 / こぼれの対処

材料が偶発的に放出 / こぼれた場合の対処手順：

予防手段(人員)：
適切な保護具を着用してください。

初期抑制：
こぼれ個所の拡大を止め、不活性の吸着性材質で覆い、こぼれを集めて適切な容器に入れます。

大量溢流の対処：
こぼれの拡大を止めるために阻止用土手を築き、再生利用のために回収ドラムあるいは処分用のタンク車を用意する。室内での大量のこぼれには、人員を避難させて換気します。

少量溢流の対処：
こぼれを不活性材質で吸着させる。集めた材料は、現地、使用国の規定に従って処理あるいは処分してください。

7章 - 取扱いと保管

取扱い：
内服しないでください。緊急事態用機器(火災、こぼれ、漏れ等の対処用)を常時使用可能なように準備すること。すべてのコンテナにラベル表示のあることを確認する。眼、皮膚あるいは衣服に接触させないでください。十分な換気をおこなう。使用しない場合のコンテナは密閉しておくこと。

保管条件：
コンテナは堅く密閉していること。涼しく乾いた個所に保管します。酸化剤と分離して保管。凍結させないでください。

この製品を高温作業で使用する場合は、適切な安全作業手順を作成して遵守してください。

8章 - 保護具

呼吸装置：
ミストあるいは蒸気の発生が予想される場合には、許可されたNIOSH呼吸装置を使用してください。

換気：
局所的排気は発生したミストの処理にだけ推薦します

保護手袋：
ネオプレーン、ニトリル、PVC、ブチル、自然ゴム、Viton(合成ゴム)。

眼の保護：
サイドカバー付き保護メガネ

衛生上の推薦：
晒しを防ぐために正しい作業と衛生実践をおこなってください。使用可能なソースに絶えず注意する。使用可能なスプリンクラーを保持する。衣料が汚染された場合はすぐに取替えて、影響領域をよく洗い落とす。汚染した衣料は再使用前に洗濯する。化学物質の取扱い後には、常によく洗浄してください。この製品の取扱い時には決して飲食や喫煙をしないでください。

その他の保護用具：
不浸透性のエプロンを着用し、眼の洗浄器を近くに保管してください。

9章 - 物理的および化学的特徴

沸点：	なし	**pH：**	8
比重：	1.03 - 1.07	**水溶性：**	乳化可能
蒸気圧：	N/I	**固形物重量割合(%)：**	N/I
蒸気濃度：	N/I	**材料Is：**	液体
VOC(揮発性有機化合物)	27.4 EPA 方法 24	**凍結点：**	く −4 ^{o}F.

含有：
気化率： N/I 流動点： ＜ −36 °F.
粘度： 400 – 1200 cps / 77 °F

外観と臭気：
透明～不透明、非純白、わずかな炭化水素臭。

10章 - 化学安定性と反応性

化学安定性 安定な
回避条件： ゲル化するため、水との接触を避ける。
危険な重合性： 発生なし
回避条件： 凍結温度
配合禁忌の材質： 酸化剤
危険な製品分解： 一般使用条件下ではない、燃焼時に炭素酸化および窒素酸化の形成あり。

11章 - 毒性情報

急性毒性：

この製品の毒性試験は未実行。メーカーによる危険特記に基づいて、潜在的人体危険性は中程度。

増感性：
この製品には増感性は見られません

発癌性：
この製品内の物質は、国際がん研究機関(IARC)、米国毒性評価計画(NTP)あるいは米国産業衛生監督官会議(ACGIH)のいずれにおいても発がん物質としてリストアップされていません

12章 - 生態学的情報

水中生物データ：

急性魚害結果：

種類	晒し	LC50	NOEC	試験詳細
羊頭ミノウ(コイ科)	96時間	>1,000 mg/l	1, 000 mg/l	同等製品の1%水溶液。
ニジマス	96時間	>1,000 mg/l	125 mg/l	同等製品の1%水溶液。
ファットヘッド・ミノウ(コイ科)	96時間	34. 3 mg/l	12. 5 mg/l	製品

急性無脊椎動物害結果：

種類	晒し	LC50	EC50	試験詳細
ダフニア・マグ	48時間	280 mg/l		同等製品の1%水溶液。

ナ(ミジンコ類)				
アミ(甲殻類)	96時間	400 mg/l		同等製品の1%水溶液。

流動性：
環境破壊は、EPI (推定プログラムインターフェース-スイート TM、米国EPAより提供)にセットされた揮散力モデル、レベルIIIを用いて想定。モデルはすべての入/出力間で安定したコンディション状態を示しました。レベルIIIモデルは定義の媒体間での平衡を必要としません。提供された情報は、定義条件下におけるモデルを用いてこの製品の環境破壊に関する一般的推定をユーザーに与えるのが目的です。環境内で開放された場合、この材質はそれぞれ推定された割合でエア、水および地面/沈殿物に分散されます：

エアー	水	地中/沈殿物
<5%	10 – 30%	70 - 905

生体内蓄積の可能性
この調合剤あるいは物質には生体内蓄積が見られません。

13章 - 処理における注意事項

この調合剤を廃棄する場合、最終ユーザーはこれを定義して適切な欧州廃物カタログコードを割付けます。公認業者だけを使用すること。欧州、使用国ならびに地域の規定適合を確認してください。

廃物はすべての適用可能な規定に基づいて、許可された焼却業者あるいは処理/処分個所へ引き渡してください。廃棄物を地域の下水道に流したり、一般ごみとして出さないでください。この製品には灰が残らず、適切な焼却炉で直接焼却できます。すべての化学廃棄物は潜在的な環境汚染物のため、地面、都市下水路、排水路、自然河川等を介して処分しないでください。

空きドラムは適切に有資格なあるいは認可された業者を通してリサイクリング、回収あるいは廃棄してください。

14章 - 搬送情報

この製品は路上、空路(ICAO/IATA)
あるいは海上(IMDG/IMO)での輸送に関して制限されていません

15章 - 規制情報

分類およびラベル表示：

この調合剤は規制されていませんが、以下の安全予防措置を推薦します：

安全フレーズ
S24/25 – 眼と肌へ触れないように注意。
S37/39 - 適切な保護手袋ならびに保護メガネ/マスクを着用。

国際化学規制法：

ヨーロッパ：
この調合剤の物質は、EINCSあるいはELINCS目録との適合性について確認されています。

米国：
この調合剤の物質は、TSCA 8(b)目録 (40 CFR 710)に含まれているか、または免除されています。

カナダ：
この調合剤の物質は、国産物質リスト(DSL)に含まれているか、または免除されています。

日本：
この製品には化学物質製造者/輸入者規制法令に適合していない物質が含まれるため、経済産業省(MITI)のリストに記載されていません。

16章 - その他の情報

R-フレーズの重要なリストおよび**3**章の**NOTAS**
R36 – 眼への刺激性。
R51/53 – 水中生物に有害で、水中環境に長期的な後退作用を及ぼす。
R65 – 有害：呑込んだ場合、肺にダメージを与える。

調合者名： JBV

改訂日： 2009年07月21日初版
改訂日： 2011年03月16日 –期日変更

注意

使用の条件あるいは方法は当社の制御を超えるため、Enviro.blend社はこの材質の使用に関するいかなる保証もせず、またいかなる責任も負いません。ここに記載の情報は、メーカーあるいはまた提示の技術ソースから提供されています。情報は事実で正確ではありますが、すべての記載事項あるいは推定は、情報の精度、材料使用時の危険性あるいは使用による結果について公にも暗黙にも保証されるものではありません。すべての適用可能な使用国と地域の法令/規定への遵守はユーザーの責任においてなされます。